

令和6年度東淀川区区政会議第1回教育・健康・福祉部会での意見と対応一覧

【当日出された意見等】

経営課題	意見内容	回答	担当課	
1	2-1	ボランティアで子育て支援の場を運営しているが子育て情報をホームページで見に来る親子が多い。ホームページをさらに充実してもらいたい。	できるだけ多くの親子に子育て支援の場に参加してもらえるよう、誰もがいつでも情報把握できるホームページを用いて子育て情報の発信を継続してまいります。	保健福祉課（子育て・教育）
2	2-1	子育ての安心・支援 ・「1年生のかべ」 ・外国籍の保護者の支援 について、支援のあり方とその取組をどのように行っているのか。	「小学校1年生のかべ」とは、子どもが小学校に上がると仕事と子育ての両立が困難になることです。小学校の入学説明会等では「児童いきいき放課後事業」の紹介をしており、区としても、事業実施主体のこども青少年局に対して活動時間の延長等を要望しているところです。 教育委員会事務局では、帰国・来日等の子どもや保護者と学校との意思疎通を図るため、学校からの申請によって通訳者による支援を行っています。主な支援内容には、学期末懇談会や教育相談時があげられます。また、令和6年度から、多言語リモート通訳システムの運用を開始いたしました。通訳者派遣による対面での通訳を基本としつつも、対応しづらい部分をリモート通訳に振り分けることを想定しています。 さらに、区役所としては、日本語での意思疎通が困難な帰国・来日等の児童生徒や当該保護者への対応のため、翻訳機を購入し、必要とされる学校に貸し出しを行っています。個別の事例については、こどもサポートネット等において、学校園から外国籍家庭のこどもの相談を受けることがあります。翻訳機を活用する等して、現在の困りごとの把握に努める等個別に支援しているところです。	保健福祉課（子育て・教育）
3	2-1	助産師による支援はすべての人につながっているのか。	ネウボラの取組みとして、母子健康手帳の交付時に原則すべての方に面接し、希望があればお住まいの地域を担当する保健師が対応を行っております。同時に妊娠期から育児期の情報をファイルで提供し、必要と判断された場合は助産師による専門相談についてもお伝えしています。今後も新生児訪問時などあらゆる機会を活用して周知に努めてまいります。	保健福祉課（子育て・教育）
4	2-1	ネウボラの施策は良いと思う。もっと広報していくべき。		
5	2-1	AIベビーについて ・11講座の1回あたりの参加人数と総数について。 ・その数は区内の乳児養育世帯のうちの何割か。 本年度も追加でAIベビー購入予定であるとのことだが、実施回数・定員数ともに昨年度より少ない。何故必要か？ ・AIベビーはきちんと世話をすると泣きやむとプログラミングされている。赤ん坊が泣き止まないのは親がきちんと世話をしないからだとの認識を強化するおそれはないか。 ・この事業の目的にかかったアウトカム指標が必要である。	この事業の目的は、「子どもの泣き声を体験する」ことを通じて、母親を取り巻く父親や祖父母、近隣住民等周囲の方々の子育てに対する理解を深め、地域での子育てを応援していただくこととしています。 令和5年度は、11講座198名定員の計画で講座を開催した結果、101名の参加があり、1回あたり9.2名の参加となっています。 当事業は、乳児養育世帯のみを対象にしたものではなく、祖父母や地域の方々もその対象としていることから、乳幼児世帯に対する参加者等の割合で評価することは適切ではなく、参加された方一人ひとりが、泣き声に対する対応や子育てに対する正しい認識を持っていただくことが重要であると考えています。 令和5年度の事業実施後アンケート結果において、「ベビーの抱っこ体験」が「とても参考になった」「参考になった」と回答した方の割合が85%を超えたことから、令和6年度においても、できるだけ多くの方に少しでも長い時間、ベビーに触れ、子育ての大変さを理解いただくために、追加でベビーを購入する予定です。 講座において、泣き止まないからお世話ができていないとの理解とならないように、ベビーの泣きについて、講師による説明があり、続いてベビーに触れていただいています。 この事業評価は、講座当日及び講座参加の数か月後にアンケートを実施しており、講座への参加が役立ったか評価しています。	保健福祉課（子育て・教育）
6	2-1	育児不安が軽減されたことは評価に値すると思います。	貴重なご意見ありがとうございます。引き続き育児不安を軽減できるよう取り組んでまいります。	保健福祉課（子育て・教育）
7	2-1	こどもに必要な健診が受けられることは母子にとって安心です。	貴重なご意見ありがとうございます。引き続き子どもに必要な検診が受けられる体制を継続してまいります。	保健福祉課（子育て・教育）
8	2-2	R5実績は100%であるが、支援を必要とする手前の予防策をどうするか。又、現状は？	こどもサポートネットは、学校の気づきからはじまり、気になるこどもに関する情報を、必要に応じて区役所と共有するものです。毎年、事業実績からどのような年齢の、どのような課題のあるこどもが上がっているか等の傾向について、学校と共有し、学校の気づきの視点を強化しています。また、毎年学校関係者等を対象とした研修会を開催し、事業の周知にとどまらず、事業の理解を深めているところです。	保健福祉課（子育て・教育）
9	2-2	本当に支援が必要なところに手が届いているのか。		
10	2-2	支援を必要とする子どもたちや子育て家庭について、増加している現状があるが、「不登校児童の対応」はどのように行っているのか。	不登校児童への対応については、学校において学校教員やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等により対応されていますが、必要に応じて、こどもサポートネットを活用して、必要な福祉制度や関係機関につなぐ等の支援を行っています。	保健福祉課（子育て・教育）
11	2-2	幼稚園、保育所選別にサポーターがいれば良いと思う。	区役所において、会計年度職員（利用者支援専門員；通称 子育て応援コンシェルジュ）を採用し、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の利用にあたっての情報提供や申込方法等に関する相談を受けています。	保健福祉課（子育て・教育）

令和6年度東淀川区区政会議第1回教育・健康・福祉部会での意見と対応一覧

【当日出された意見等】

経営課題	意見内容	回答	担当課	
12	2-2	<p>こども110番の家の選定方法はどのようなものか。安全性は確保されているのか。</p>	<p>「こども110番」は、青少年育成大阪府民会議が「青少年健全育成運動の推進」の一環として各市町村、関係機関、地域の企業・団体等の協力を得て推進しているものであり、東淀川区では、東淀川区青少年育成推進会議において取り組んでおります。その推進会議の構成団体である東淀川区PTA協議会を主体として、こども110番の家の趣旨にご賛同いただいた地域の家庭や商店、事務所などのご協力をいただいています。</p> <p>地域によりさまざまな事情があるため、各地域内の「こども110番の家」の把握・管理、「こども110番」の旗の配付については、各単位PTAもしくは学校の先生に対応していただいています。協力の申し出をいただいた際には、趣旨にご賛同いただくこと、有事の際には「対応マニュアル」とおとり対応いただくこと等をお伝えし「協力申出書」を記入・提出していただいております。ご協力いただく方からは個人情報の提供もいただいておりますので、こどもの安全性は一定確保されているものと考えています。</p> <p>引き続き「こども110番の家」活動を推進し、地域のこどもは地域で守り、こどもたちが安心して暮らせる環境が確保できるよう、区PTA等の関係団体と連携のもと取り組んでまいります。</p>	保健福祉課（子育て・教育）
13	2-2	<p>二十歳のつどいの会場を前の会場に戻せないか。現会場は狭いと聞いている。</p>	<p>平成20年度までは区民ホールで開催し、平成21年度から令和元年度まで大阪経済大学フレアホール等をお借りして開催していましたが、「二十歳のつどい実行委員会」において議論され、参加者の声や従事者の意見、安全性等を総合的に勘案し令和4年度からは区民ホールで開催することになりました。</p> <p>今後も「二十歳のつどい」の開催日時・会場等は、参加者の意見や警備誘導などの安全面等を考慮し、「二十歳のつどい実行委員会」で議論・決定していただく予定です。</p>	保健福祉課（子育て・教育）
14	2-2	<p>見守るデーも地域によってかなり温度差がある。登下校の見守りの大切さを伝えるにはどうすればいいか。</p>	<p>「見守るデー」は、区内各種団体で構成する東淀川区青少年育成推進会議を実施主体として取り組んでいますので、その会議でいただいたご意見を報告するとともに、引き続き、毎月7日は「東淀川区見守るデー」と周知・徹底を進め、継続的な活動に取り組んでまいります。</p>	保健福祉課（子育て・教育）
15	2-2	<p>他市では学校体育施設開放事業の冷房使用料がかかっているのだが東淀川区ではいつまで公費で負担してくれる予定か。</p>	<p>学校体育施設開放事業にかかる光熱費については、区CM予算として予算編成しております。いつまで公費を負担できるのかは現時点では未定ですが、今後も市民が身近にスポーツを楽しめる場としての学校体育施設開放事業を円滑に実施することを目標として取り組んでまいります。</p>	保健福祉課（子育て・教育）
16	2-2	<p>アウトカムで支援された側へのアンケートは行われているのか。</p>	<p>こどもサポートネットにおける指標は全市で統一されており、「学校の気づきにより判明した課題のある児童・生徒のうち適切な支援につなげられた割合95%以上」と設定され、区役所と学校間で評価しています。この事業をより一層効果のあるものとするため、ご意見にあったような、支援を受けた子育て家庭に対する聞き取り等について、今後、検討いたします。</p>	保健福祉課（子育て・教育）
17	2-2	<p>「子育て世帯を含む…」もアウトカム指標の達成状況アンケートで回答に含まれているのか。実施したことで100%なのか。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については、教育委員会事務局の所管（中央図書館）に伝えていきます。</p>	保健福祉課（子育て・教育）
18	2-3	<p>読書環境の充実を。各小学校にて配置されている図書司書は、現在1名が週一回のみ入っている。これを週2～3回に増やして欲しい。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については、教育委員会事務局の所管（中央図書館）に伝えていきます。</p>	保健福祉課（子育て・教育）
19	2-3	<p>鑑賞教育事業 芸術文化にふれる機会を増やす。 現在の具体的な内容は？（学年・回数等）</p>	<p>毎年、各小中学校に希望調査を行って、「鑑賞教育」を選択された小中学校には、小学1～6年生・中学1～3年生を対象に、劇団や音楽団体を派遣しています。演劇鑑賞と音楽鑑賞を1年ごとに実施しており、令和6年度は演劇鑑賞「赤毛のアン～グリーンゲイブルズでの絆～」を小学校15校（全年齢対象）、中学校3校（全年齢対象2校・1～2年生対象1校）で実施しています。</p> <p>「芸術文化にふれる機会を増やす」とのご意見をいただきましたが、予算面の課題があり、難しいと考えています。</p>	保健福祉課（子育て・教育）
20	2-3	<p>子どもが自立して「生きる力」を身につける取組が必要ではないか。自信のない子どもや朝の登校渋りが見られる。</p>	<p>大阪市では、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策を定めた「大阪市教育振興基本計画」が策定されており、最重要項目の一つとして、「未来を切り拓く学力・体力の向上」が掲げられ、基本的な方向として「豊かな心の育成」「誰一人取り残さない学力の向上」「健やかな体の育成」が示されています。</p> <p>東淀川区では、各学校を支援するため、現在『「生きる力」の獲得、「自尊感情」の向上のための施策の推進』として、「学校の実情に応じた教育支援事業」（小中学校へのゲストティーチャー派遣事業・鑑賞教育事業）、「民間事業者を活用した課外学習事業（こぶしのみのり塾）」を実施しています。</p> <p>引き続き、学校等のご意見も聞きながら、より良い事業が実施できるよう、取り組んでまいります。</p>	保健福祉課（子育て・教育）

令和6年度東淀川区区政会議第1回教育・健康・福祉部会での意見と対応一覧

【当日出された意見等】

経営課題	意見内容	回答	担当課	
21	2-3	「ゲストティーチャー派遣事業」は、学校の意見等を聞きながら平成27年度から実施してきましたが、一定年数が経過する中で、学校のニーズも多様化してきたことから、現在の子どもの実情と課題にあった内容へ見直すことを検討しています。	保健福祉課（子育て・教育）	
22	2-3	これまでの、「いのちと性の教育」「情報モラル教育」の2テーマで学校ごとに実施学年を選択していただき、実施してきましたが、令和7年度以降は各学校のニーズに応じたメニューをそれぞれ設定していただけるような事業展開を検討しています。		
23	2-3	一方、「鑑賞教育事業」は、引き続き、学校の希望に応じた質の良い内容で実施できるよう、区役所で仕様書を作成して、公募型プロポーザル方式で事業者を選定し、業務委託する予定です。		
24	2-3	ゲストティーチャーの内容は学校で決めているのか。学校で学びたいことを言えるのか。		
25	2-3	鑑賞事業について、区役所から提案するのではなく、学校長にすべて決定権が移るのとは確定したのか。		
26	2-3	ご指摘のとおり、区民アンケートを活用した評価と支援を受けた方からの評価は視点が異なるものであり、事業や施策毎に適切に指標を選択する必要がありますと考えます。また項目によっては、複数の指標を設定することにより、よりの確に評価する視点も含め、検討してまいります	保健福祉課（子育て・教育）	
27	2-3	こぶしのみのり塾について周知しているが、学習内容が伝わっていない。学校で開催しているので授業とリンクしていると思っている保護者が多いが、プリント学習が多いため自習のようであることからすぐやめてしまったという声を聞いた。	東淀川区では、子どもの習熟度に応じた基礎学力の向上並びに学習習慣の形成及び定着を図るため、株式会社トライグループと協定を結び、「民間事業者を活用した課外学習事業（こぶしのみのり塾）」を行っています。このような事業は全市各区で実施されています。中学生は1コマ70分授業（小学生は1コマ60分授業）で、10分間テスト（前回の振り返り・解答・解説）、学習計画に沿った学習単元の演習・指導、本日の振り返り・自主学習のアドバイスという流れで実施しております。委託事業者には、教材（冊子）を活用しながら、生徒・児童の意向も聞いて柔軟に実施していただいております。極端にプリント学習が多いという認識はしていませんが、ご意見は協定事業者とも共有いたします。令和6年5月31日現在の利用者数は、児童生徒あわせて190名です。区内小中学生の総数に対し決して多い人数ではありませんが、当事業の目的・実施方法を理解し選択された児童生徒に利用していただいていると考えています。なお、困窮世帯の子どもの割合は把握しておりません。引き続き、委託事業者と情報共有・意見交換しながら、個々の児童生徒のニーズに対応した事業となるよう努めてまいります	保健福祉課（子育て・教育）
28	2-3	こぶしのみのり塾の利用総数とその内訳は。その定員数は区内小中学生の何割に相当するか？ 特には困窮世帯の子ども数の何割に相当するか？		
29	2-3	「生きる力」の獲得、「自尊感情」の向上のための支援として、小中学校に「伝えよう！いのちのつながり」をテーマに作文募集をボランティアで実施しています。	「生きる力」の獲得、「自尊感情」の向上のためにボランティアで活動いただきありがとうございます。	保健福祉課（子育て・教育）
30	3-1	地域福祉コーディネーターについて実績100%であるが、件数は？ また、相談につながっていないケースの掘り起こしは？	令和5年度の総相談件数は、6,220件です。1地域あたりですと月約30件です。また、ケースの掘り起こしについては、東淀川区社会福祉協議会の見守り相談室と地域福祉コーディネーターが連携し、見守りが必要な方の見守りや声掛けを実施しています。また、一部の地域では、民生委員とも連携しながら見守り活動等を実施しています。	保健福祉課（保健福祉）
31	3-2	「地域力」をいかに安心・安全対策として、一人住まい、高齢者の住みずらさが見受けられるので、孤立・孤独へのサポートが必要。		
32	3-1	地域福祉コーディネーターに相談に行けるきっかけを探すことが難しい。	地域福祉コーディネーターは、各地域の福祉会館などに週2回各3時間、生活する上での困りごとや近隣住民の方に関する気になることなどの相談をお受けしています。相談事があれば、まずは、お住いの地域の地域福祉コーディネーターにご相談ください。	保健福祉課（保健福祉）
33	3-1	地域福祉コーディネーターの資質の向上に努めたとの事だが、具体的な内容は？	地域福祉コーディネーターは2か月に1回連絡会を実施し、各地域の情報交換や支援の振り返りを行っています。また、東淀川区社会福祉協議会で実施している福祉に関する事業や困サポへの参加、人権研修などを受講し、スキルアップに努めています。見守り相談室のコミュニティソーシャルワーカーと連携・協働しており、適切な助言を受けながら課題解決に取り組んでいます。	保健福祉課（保健福祉）
34	3-1	毎年、報道がある「熱中症になって死亡する高齢者」について策を考えたい（地域の取り組みとして）。	エアコンを適正利用をされていない高齢者が多数いらっしゃるかとケアマネジャー等からお聞きしています。地域包括支援センター等と連携し、熱中症のリスクやエアコンの適正利用について周知してまいります。地域でも、身近な方への声かけ等よろしくお願ひします。また、熱中症特別警戒アラートが発表された際に暑さをしのげる場として、区役所及び出張所を含む区内11か所にクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）を開設することとなりました。区内における指定施設については「大阪市クーリングシェルター一覧」のホームページをご覧ください。	保健福祉課（保健福祉）
35	3-1	地域福祉コーディネーターの存在がまだ知られていない。100%？	地域福祉コーディネーターの紹介や活動の周知について、「広報ひがしよどがわ（令和6年8月号）」にて広く周知しました。また、周知用チラシを	保健福祉課（保健福祉）

令和6年度東淀川区区政会議第1回教育・健康・福祉部会での意見と対応一覧

【当日出された意見等】

経営課題	意見内容	回答	担当課	
36	3-1	(地域福祉コーディネーターの?) 活用の仕方などを広報してほしい。	作成し、各地域でのイベント開催時にチラシを配布するなど、継続して実施していきます。	保健福祉課 (保健福祉)
37	3-1	安心して暮らし続けるために「イス」がほしい。近所の80代女性は買物途中よくこける。地べたに座っていることもあるがイスに座りたい。	いただいたご意見を関係部署に引き継いでまいります。ただ、すぐに設置できるものではありませんので休憩できるようシルバーカーを活用していただくことなども検討いただければと考えます。	保健福祉課 (保健福祉)
38	3-2	地域保健福祉計画は地活協の取組を並べただけのものにならないよう、作成・振り返りは多くの人に関わってほしい。	地域別保健福祉計画の策定につきましては、東淀川区社会福祉協議会と連携しながら進めています。	保健福祉課 (保健福祉)
39	3-2	地域保健福祉計画を作ること・知ることによって生活・命を守れるものになるよう当事者意見をきく場所が必要では。	計画策定に関する地域内での検討会等の人選や人数、日時等については、各地域の地域社会福祉協議会や連合振興町会、地域活動協議会の各会長等と地域の状況に応じて調整させていただいています。	
40	3-2	地域の足並みが揃わないのは何が原因? 地域保健福祉計画を公示・(身近に) アナウンスして欲しい。	また、策定済地域の今後の振り返りや計画の周知方法についても、より多くの方に参加又は周知できるよう各地域の状況に応じて検討してまいります。	
41	3-2	色々な計画があるが、各地域で理解できているか不安。		
42	3-2 4-1	個別避難計画策定推進サポーターの人数は? 所属は? 区役所の人?	当区の個別避難計画策定推進サポーターは、「東淀川区個別避難計画作成支援に関する業務(個別避難計画作成推進サポーター業務)を行う会計年度任用職員の任用方法を定める要綱」に基づき任用する当区の会計年度職員です。同サポーターの人数は、現在1名で、東淀川区役所地域課安全まちづくり担当に配属しています。	安全まちづくり 保健福祉課 (保健福祉)
43	3-3	区民の困りごとを受け止め、気軽に相談できるのか。	区民の生活のお困りごとをお聞きし、相談支援員が解決のお手伝いをする「くらしのみのり相談窓口」が区役所1階11番窓口にあります。お気軽にご相談ください。	保健福祉課 (保健福祉)
44	3-3	自助・共助の限界 困窮世帯を捕捉できない。 民生委員が機能していない。	自らSOSを発することができない方や困りごとを抱えた方など、気になる方がいらっしゃる場合は、区役所や相談支援機関へご連絡ください。また、民生委員による要援護者名簿を活用した見守り活動を行っており、東淀川区見守り相談室、地域福祉コーディネーター等のさまざまな相談支援機関と連携しながら支援を継続してまいります。	保健福祉課 (保健福祉)
45	3-3	困サポとつながる場の支援者間のアンケートの意味が分からない。 利用者にアンケートしていない?	東淀川区運営方針におけるアウトカム指標は、困サポやつながる場に参加していただいた支援機関の関係者にアンケートを実施し、効果測定しております。利用者を対象としたものではありません。	保健福祉課 (保健福祉)
46	3-3	困サポでの内容や具体策を広めたい。	東淀川区生活困窮者サポートネット連絡会(困サポ)での内容はホームページでもご確認いただけます。 https://www.city.osaka.lg.jp/higashiyodogawa/page/0000621373.html 今後も、広報紙やホームページ、公式SNSを活用し、「くらしのみのり相談窓口」の周知を実施してまいります。また、各相談支援機関と連携し、お困りの方が支援につながるよう努めてまいります。	保健福祉課 (保健福祉)
47	3-3	本当にしんどい人は情報すら知らない。	また、民生委員・見守り相談室・地域福祉コーディネーターは要援護者等に見守り活動をしています。ご本人からの相談がなくとも必要な相談支援機関につながるよう粘り強く活動しております。	保健福祉課 (保健福祉)
48	3-3	高校中退理由に添ったサポートを(金銭? 学力? 環境?)	ひがよどなごみ勉強会では、参加者の状況に応じて「学習」「心理的サポート」「コミュニケーション」など、それぞれの課題に寄り添った支援を行っています。	保健福祉課 (保健福祉)
49	3-4	ウォーキングイベントやいきいき体操で幅広い世代が一緒に参加できれば取組が広がると思う。	いきいき百歳体操は、地域の集会所等で住民主体で開催していただいています。参加対象は会場ごとで異なりますが、多くの会場が年齢に関係なく地域住民の方を対象とされています。また、ウォーキングマップを作成しているところですので、幅広い世代に周知していくよう工夫してまいります。	保健福祉課 (保健福祉)
50		デイサービス・グループホームどの開催を増やす(レクリエーション的に)。	また、東淀川区体育厚生協会が主催する区内に在住・在勤の方を対象に東淀川区ハイキング大会も毎年行われておりますのでご参加いただければと思います。	
51	3-4	高校生世代を地域活動に参加させるきっかけづくりが必要では。	夏休み等長期休暇を活用して、これからの地域の担い手である高校生世代に地域活動に参加していただくことは意義深いと思います。イベントを企画するときに高校生の参加を考慮した取り組みができないかという視点を地域課や社会福祉協議会とも共有してまいります。	保健福祉課 (保健福祉)
52	3-4	在宅介護などの支援の受け方や窓口を知らせる必要がある。	在宅医療・介護に関するリーフレットやチラシなど区広報紙、東淀川区ホームページ、デジタルサイネージ、SNS等を活用し引き続き周知します。また、医療・介護関係者等と連携して、健康展や市民向け講演会を開催し、区民自身が医療や介護について理解し、在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを適切に選択できるよう取り組めます。	保健福祉課 (保健福祉)
53	3-1	地域福祉コーディネーターの皆様には安全・安心な支え合いに尽力いただきありがとうございます。	貴重なご意見ありがとうございます。引き続き身近な相談機関及び見守りの役割を果たせるよう取り組んでまいります。	保健福祉課 (保健福祉)
54	3-3	ひがよどなごみ勉強会があることを初めて知りました。そこで学んだ学生たちが社会に出て活躍されることを祈っています。	貴重なご意見ありがとうございます。こどもたちの「生きる力」になるよう取り組んでまいります。	保健福祉課 (保健福祉)

令和6年度東淀川区区政会議第1回教育・健康・福祉部会での意見と対応一覧

【当日出された意見等】

	経営課題	意見内容	回答	担当課
55	3-3	ひがよどなごみ勉強会 周知できてないが少し行ってみたいとの声を先日聞いてよかった。	引き続き支援機関と連携しながら、周知に努めてまいります。	保健福祉課（保健福祉）
56	3-4	大阪成蹊大学とのコラボでバイタルチェックを行うことで地域と大学がお互いにWIN-WINになっている	地域と大学が連携している取組みとして参考にさせていただきます。ご意見、ありがとうございます。	保健福祉課（保健福祉）
57	3-4	医療と介護 病院にリーフレット配付は良い事と思います。	医療・介護関係者と引き続き連携しながら、地域住民への普及啓発に取り組んでまいります。	保健福祉課（保健福祉）